

2017-B		VI44B			
拠出金・基金 の名称		国際農業研究協議グループ拠出金／国際熱帯農業センター(CIAT)			
種 別		☒ イヤマークのみ ☐ 一部イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】国際農業研究協議グループ(CGIAR)／国際熱帯農業センター(CIAT)					
【所管官庁担当局課・室名】 農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ／農林水産技術会議事務局国際研究官室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 途上国農家が実施可能で、農業生産環境の変化に適応した持続的な農業栽培技術を開発するための研究開発を支援する。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	6,274	57	-	1米ドル=110円	100
平成28年度	7,604	63	-	1米ドル=120円	100
平成27年度	7,604	69	-	1米ドル=110円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 CIATはCGIARに属する研究機関であり、農業の経済的及び生態的な効率性の向上を目指した研究により、熱帯における飢餓と貧困を削減し、住民の栄養を改善することを目的としている。 近年、開発途上国において、窒素肥料の過剰な投入により、地下水汚染や温室効果ガスの排出が懸念されている。一方、後発開発途上国の多くでは、肥料の国際価格の高騰等により、未だ十分な施肥が困難な状況である。このため、窒素肥料の利用効率を高めることによる低環境負荷かつ低コストな農業技術の開発が求められている。 このような課題に対応するため、我が国のCIATへの拠出金により、Brachiaria属熱帯牧草の持つ生物的硝化抑制能を活用した作付体系を構築し、窒素利用効率を25%向上させるための研究開発を実施しており、その意義は極めて大きい。					
【備考】					